

イベント 終了しました

【満員御礼受付終了】「詩」の魔力—和歌と現代詩を往復して

キーワード	日比谷カレッジ,百人一首,詩
内容	<p>詩を読むことは、自らの手で井戸から水を汲み上げること。創造力を駆使して詩を読んでみましょう。</p> <p>一千年ほど前、藤原定家が編んだとされる「百人一首」。現代人からは遠く隔たった古詩に見えますが、少しだけ深く立ち入ってみると、そこには思いがけないほどの豊かさがあり、今なお私たちに発見を導きます。一方、現代の詩の先端をゆくのが口語で書かれた自由律の「現代詩」。</p> <p>この講座では、和歌と近・現代詩とを一直線に並べ、千年を超特急で駆け抜けながら、日本語の詩とその変遷を、味わい考えます。</p>
日にち	2017年06月16日（金） 19:00から20:30
日にち説明	18:30開場
場所	4階 スタジオプラス（小ホール）

関連ファイル	170616「詩」の魔力 チラシ【確定】.pdf
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	60名（事前申込順）
参加費用	1,000円

講師・出演者	小池昌代
プロフィール	<p>■小池 昌代（こいけ まさよ）詩人。 1959年東京深川生まれ。津田塾大学卒業。年少の頃より詩に惹かれ、20代の終わり、法律出版社に勤務しながら第一詩集『水の町から歩きだして』を刊行。以後、詩と散文を書き続ける。主な詩集に『もっとも官能的な部屋』（高見順賞）、印度への旅を材にとった『コルカタ』（萩原朔太郎賞）。主な小説には『タタド』（表題作で川端康成文学賞）、『感光生活』、『黒蜜』、『たまもの』（泉鏡花文学賞）。詩のアンソロジー『通勤電車によむ詩集』『恋愛詩集』『おめでとう』や、『詩についての小さなスケッチ』『散文集 産屋』他多数。絵本の翻訳も手がける。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
----	---------------

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
--------	-----------------------------


申込期間	2017年04月15日 10:00 から2017年06月16日 19:00
------	---------------------------------------

申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。
------	--

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2017年 06月						
	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	

発信日	2017.04.15
-----	------------

 印刷

 リストに追加

ツイート

©2011 Hibiya Public Library. All Rights Reserved.